



令和7年度決算の概要



名古屋高速道路公社

目 次



◆ 令和7年度決算のポイント	1
◆ 令和7年度損益計算書の概要	2
◆ 令和7年度貸借対照表の概要	3
＜参考資料＞	
◆ 会計処理の特徴	4

◆令和7年度決算のポイント



■令和7年度決算のポイントは、以下のとおりです。詳細は、次ページ以降をご覧ください。

① 道路料金収入は、前年度(716億円)から16億円増加し、733億円となりました(+2.3%)。

② 道路管理費は、前年度(313億円)から36億円増加し、348億円を充てました(+11.4%)。

大規模修繕等の補修工事、道路設備の更新工事などを実施しました。

③ 償還準備金繰入(借入金の返済に充てた額)は、前年度(340億円)から24億円減少し、316億円を繰り入れました(-7.0%)。

償還準備金(償還準備金繰入の累計額)は、前年度(8,703億円)から316億円増加し、9,019億円となりました(+3.6%)。

償還率は前年度(52.1%)と比べ1.8ポイント向上し、53.9%となりました。

(注)端数処理の関係上、増減額及び増減率において合わないことがあります。

◆ 令和7年度損益計算書の概要



(単位:百万円)

費 用 の 部					収 益 の 部				
勘定科目	7年度	6年度	前年度比		勘定科目	7年度	6年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B(%)		A	B	A-B	A/B(%)
事業資産管理費	34,816	31,265	3,551	111.4	業 務 収 入	73,352	71,710	1,642	102.3
道路管理費	34,812	31,263	3,550	111.4	道路料金収入	73,255	71,638	1,618	102.3
(内消費税納付金)	(3,453)	(4,105)	(△652)		マイレージ還元負担金収入	0	0	△ 0	57.3
貸倒引当金繰入	4	2	2	174.8	マイレージ引当金戻入益	1	2	△ 1	48.7
マイレージ還元負担金	0	0	△ 0	40.3	業務雑収入	95	70	25	136.3
一般管理費	2,107	1,843	264	114.3					
業務外費用	5,009	4,733	276	105.8	業務外収益	176	103	73	170.4
(内借入金利息)	(4,851)	(4,572)	(279)						
小計(管理費用)	41,932	37,841	4,091	110.8					
償還準備金繰入	31,596	33,972	△ 2,376	93.0					
合 計	73,528	71,813	1,715	102.4	合 計	73,528	71,813	1,715	102.4

(注) 端数処理の関係上、計及び前年度比において合わないことがあります。

■ 収益の状況…○ 収益の総額は735億円で、そのほとんどがお客様からの道路料金収入となっています。

○ お客様からの道路料金収入は、前年度から16億円の増加となりました。

■ 費用の状況…○ 費用の総額は、735億円であり、主なものは、道路の維持補修や料金収受などに要した道路管理費348億円(消費税納付金含む。)、業務外費用(借入金利息など)50億円及び借入金の元金返済に充てた償還準備金繰入316億円となっています。

○ 償還準備金繰入は、収益・費用の状況により、前年度から24億円の減少となりました。

◆ 令和7年度貸借対照表の概要



(単位: 百万円)

資 産 の 部					負 債 及 び 資 本 の 部				
勘定科目	7年度	6年度	前年度比		勘定科目	7年度	6年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B(%)		A	B	A-B	A/B(%)
流 動 資 産	12,508	12,057	451	103.7	流 動 負 債	69,639	69,620	19	100.0
現金・預金など	4,374	4,652	△ 278	94.0	1年以内返済予定長期借入金※	59,384	58,796	588	101.0
未収金	8,138	7,408	730	109.9	未払金など	10,255	10,824	△ 569	94.7
貸倒引当金	△ 4	△ 2	△ 2	189.5	固 定 負 債	462,081	473,559	△ 11,478	97.6
固 定 資 産	1,749,244	1,725,974	23,270	101.3	名古屋高速道路債券※	369,600	378,300	△ 8,700	97.7
道 路	1,679,294	1,678,888	406	100.0	政府借入金※	32,286	32,436	△ 149	99.5
道路建設仮勘定	69,432	46,519	22,913	149.3	県・市借入金※	39,698	36,861	2,837	107.7
有形固定資産など	518	568	△ 49	91.3	市中銀行等借入金など※	12,283	17,756	△ 5,472	69.2
繰 延 資 産	669	727	△ 58	92.0	退職給与引当金	1,189	1,182	7	100.6
					ETCマイレージ引当金	2	3	△ 1	63.5
					資産見返交付金	7,022	7,022	0	100.0
					特別法上の引当金等	901,917	870,321	31,596	103.6
					償還準備金	901,917	870,321	31,596	103.6
					基本金(県・市出資金)	328,784	325,259	3,525	101.1
資 産 合 計	1,762,421	1,738,758	23,662	101.4	負 債・資 本 合 計	1,762,421	1,738,758	23,662	101.4

(注) 端数処理の関係上、計及び前年度比において合わないことがあります。

- 資産の状況・・・○資産の総額は1兆7,624億円となっています。このうち道路資産は1兆6,793億円であり、資産全体の95%を占めています。
- 負債及び資本の状況・・・○負債及び資本の総額は1兆7,624億円であり、主なものは、道路債券を含む借入金5,133億円※、元金返済に充てた償還準備金9,019億円、設立団体の愛知県・名古屋市からの出資金3,288億円となっています。

◆ 会計処理の特徴



- 当公社では、企業会計原則に準じた会計処理を行っていることにより、財政状態や経営成績が明らかになっております。
- 有料道路事業は、出資金・借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により返済していくものであり、全ての返済を終えると、本来の道路管理者に引き渡すことになっていることから、借入金が着実に返済されているかどうかを会計処理において適切に把握することが重要です。
- 「道路資産」においては、企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上しておりません。
- 借入金の返済に充てた年度の「収支差」(収益と費用の差)を「償還準備金繰入」として費用に計上し、その累計額を「償還準備金」として貸借対照表の負債の部に計上しています。
- 「道路資産」の額と「償還準備金」の額の対比により、道路に投下した資金の償還状況がわかるしくみになっています。